

# 日本タオル卸商連合会 4(よく)月29(ふく)日 「タオルの日」 タオルのある暮らしをアピール

日本タオル卸商連合会(尾池行郎理事長、92社)は、4月29日を“よくふく日”として「タオルの日」と定めた。SNSを使った情報発信やイベントなどを通して、タオルのある暮らしの再認識やタオル文化の再発見へつなげる考えだ。



岡本静香広報担当



小杉啓生委員長

今年2月に一般社団法人日本記念日協会へ申請し、このほど正式に登録された。タオルを巻いた家族3人をイメージキャラクターに、「ふんわりコミュニケーション」のブランドメッセージとともにアピールする。

連合会の「タオルの日」推進委員会の小杉啓生委員長は「日常生活の中で毎日使うタオルは当たり前前にありすぎてあまり意識されていない。水や電気と似ている」と指摘。「製造者、販売者、生活者などタオルに関わるすべての人々に、生活財であるタオルの価値を再認識していただけるきっかけをつくりたいとの思いからタオルの日を設けた。タオルのある暮らしに対する気づきや魅力を再発見してもらえるように活動していく」と語る。さらに「サイズや厚さ、ウェット・ドライユースを含めて多種多様なタオルがある日本は、世界一のタオル文化」としてアピールしていく。

タオルの日に行うイベント内容は今後詰めるが、推進委員会広報担当の岡本静香さんは「タオルの日という1日のイベントで終わるのではなく、息の長い取り組みを行っていきたい」と話す。その一環として、SNSで定期的にタオルの豆知識なども含めながらタオルのある暮らしをさまざまな角度から紹介し、タオルをより身近に感じてもらう狙い。小杉委員長は「タオルの販売拡大より、まずはタオルに対する認知・意識を高めたい」と持続的な活動へつなげる。

日本タオル卸商連合会は、大阪タオル卸商業(尾池行郎理事長)、東京タオル卸商業(鳥山博司理事長)、名古屋タオル卸商業(水野馨理事長)の3組合で構成しており、今回の活動は全国的に展開する。さらに今治タオル工業組合、大阪タオル工業組合と今後の協力を模索しながら、製販一体となって取り組んでいきたい考えを示す。



## SNSで「タオルの気持ち」配信



インスタグラムやツイッターのSNSで月2回「タオルの気持ち」を配信する。イラストレーターの日比野尚子さんがタオルを擬人化し、タオルの豆知識なども含めながらタオルのある暮らしをさまざまな角度から紹介する。既に配信しているものでは「お父さんの足を拭くのはもう、うんざりだよ〜」と擬人化したタオルが訴える。タオルをより身近に感じてもらえる内容でタオルのある暮らしを伝える。



ウェブ



ツイッター



インスタグラム



フェイスブック

ふんわりコミュニケーション

# タオルの日

よく ふく

# 4月29日

